

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：平成 31 年 1 月 31 日

事業所名 子どもサポート教室きりり小幡校

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|----------|---|---|----|-----------|-----|---|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | | 法令を遵守したスペースを確保しています。限られたスペースで、できる療育を提供します |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | ○ | | | |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | ○ | | | |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | | |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | | ○ | 現在公開していません |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | 初任者研修を実施し、月 1 回事例検討研修会に参加しています。必要な研修に全職員が参加できるようにします。 |
| 適切な支援の提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ○ | | | |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | | |
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | ○ | | | テスト対策に切替えたり、長期休暇の宿題は幅広く支援しています。また祝日はフリー開校にして受け入れ時間を延ばしています。 |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | |

| | | | | | |
|---|--|---|--|--|--|
| ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | | |
| ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | |

| | | | | | | |
|--------------------------|---|--|---|--|---|---|
| | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | 3ヶ月に1度必ず面談し、見直し等行っています。 |
| | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか | ○ | | | |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | | | ○ | 担当者会議は現在未実施ですが、必要があれば積極的に提案していきます。 |
| | ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | | | ○ | 保護者様より、学校からのおたより等を持参していただき、情報を共有しています。 |
| | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | | ○ | 現在該当者はいませんが、主治医等の意見を確認したうえで慎重に判断していきます。 |
| | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | | | ○ | 現在ご要望はありませんが、要望があれば積極的に協力連携していきます。 |
| | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | | | ○ | 現在ご要望はありませんが、要望があれば積極的に協力連携していきます。 |
| | ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | | | |
| | ㉖ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | | ○ | 守山区児童部会に加入し、イベント等に参加。集団療育でも試みています。 |
| | ㉗ | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | ○ | | | 守山児童部会に毎月出席、交流会やイベントでも積極的に参加しています。 |
| | ㉘ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | |
| | ㉙ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | ○ | | | |
| 保護 | ⑳ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | |

| | | | | | | |
|----------|----|---|---|---|--|---|
| 者への説明責任等 | ③① | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | | 支援後のフィードバック、定期的な面談を通じ対応しております。職員が適切な助言ができるよう指導して参ります。 |
| | ③② | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | ○ | | | 子育て支援団体の父母の会に参加できるような情報を得ながら、ご紹介しています。 |
| 非常時等の対応 | ③③ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | | |
| | ③④ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | | ブログや通信、チラシを配布し発信しています |
| | ③⑤ | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | | |
| | ③⑥ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | | 支援後は必ずフィードバックします。個人の連絡帳を作り、伝達しています。 |
| | ③⑦ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | ○ | | | 同建物の事業所とはイベント時協力し合っております。守山区児童部会を通じ、地域の方の要望等に応えられるよう発信していきます。 |
| | ③⑧ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | ○ | | | |
| 非常時等の対応 | ③⑨ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | | |
| | ④⑩ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | | マニュアルを策定しています。学べる研修機会を確保しています。 |
| | ④⑪ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | | ○ | | マニュアルを策定しています。しっかり学べる研修機会を確保します。 |
| | ④⑫ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | | |
| | ④⑬ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | | |

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：平成 31 年 1 月 31 日

事業所名 子どもサポート教室小幡校 保護者等数（児童数） 33 回収数 25 割合 75 %

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | ご意見、ご意見を踏まえた対応 |
|----------|---|--|----|-----------|-----|---|
| 環境・体制整備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 21 | 3 | 1 | 法令を遵守したスペースを確保しています。限られたスペースで、できる療育を提供します |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 23 | 2 | | |
| | ③ | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 12 | 13 | | |
| 適切な支援の提供 | ④ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか | 24 | 1 | | |
| | ⑤ | 活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか | 23 | 2 | | |
| | ⑥ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 7 | 6 | 12 | 個別指導のため機会はないですが、守山区児童部会に加入し、イベント等に参加。集団療育でも試みています。 |
| 保護者への説明等 | ⑦ | 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 25 | | | |
| | ⑧ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 23 | 2 | | |
| | ⑨ | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 19 | 6 | | |
| | ⑩ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 6 | 12 | 7 | （意見）父母の会があればいいなと思います。（子育て支援団体の父母の会の情報を得ながら、紹介しています） |
| | ⑪ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 16 | 9 | | |
| | ⑫ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 22 | 3 | | |
| | ⑬ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 22 | 2 | 1 | 掲示板、通信とホームページで発信しております。 |
| | ⑭ | 個人情報に十分注意しているか | 20 | 5 | | |

| | | | | | | |
|---------|---|---|----|---|---|---|
| 非常時等の対応 | ⑮ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 20 | 3 | 2 | 各マニュアルを策定しています。マニュアルを閲覧できるようにしています。契約時等にお伝えしていきます。 |
| | ⑯ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 16 | 7 | 2 | 月1回災害避難訓練をしています。 |
| 満足度 | ⑰ | 子どもは通所を楽しみにしているか | 21 | 4 | | (意見) 最近勉強を嫌がるのでYESではないが来たら先生が上手く対応してくれるのでやる気になって通所している 子どもに寄り添ってくださり楽しく通えています。 (ありがとうございます、職員一同大変うれしいご意見です) |
| | ⑱ | 事業所の支援に満足しているか | 22 | 3 | | (意見) 親の心の支えになっています。 頑固で相手をするのが大変だと思いますが、根気よく対応して下さり感謝しています。 (ありがとうございます。これからも笑顔で通って頂けるよう支援させていただきます) |

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。